

## 第 40 回理事会 議事録

1.開催日 2023年9月18日(月) 13:00:~17:40

2.開催方法 ZOOMによるオンライン会議

3.理事 21名中19名が出席し、定足数を満たした。

(出席) 愛場庸雅 村越 真 奥田健史 鹿島田浩二 信原 靖 高島和宏 桑 早穂 加納尚子 中野智美 野中好夫  
佐藤大樹 大野(山本)徳子 市橋国之 吉村年史 茅野耕治 小林 力 谷野文史 市川俊介 大石 遥

(欠席) 堀井 学 源後(皆川)美紀子

監 事 (出席) 齋藤宏顕、

(欠席) 中川義宏 斎藤和助

顧 問 前田(大里)真理子

手話通訳者 2名

公認パラスポーツ指導員 白石哲男(第4号議案説明)

事務局 小野賢二 上松典子

議 長 定款第32条により、愛場理事を指名した。

・愛場議長は、議長就任にあたり、表決には加わらないこと、但し賛否同数の際に表明を行うことを表明した。従って、今理事会での愛場議長の表決は全議案棄権票として扱う。

・村越副会長は、冒頭出席後、審議事項の審議の時間帯は離席しており、表決に加わっていなかったことから、表決については、離席1としている。

#### 審議事項

##### 第1号議案 競技関連規則改訂の承認(高島業務執行理事)

規則や実施基準等について、所管する委員会を明記することにより、規則類の管理体制を明確にし、改定等に際しての手続きやミスを防ぐことを目的とする。

以上、審議の結果、出席理事総数18名(1名離席)、賛成15名、反対1名、棄権2名により原案通り可決承認した。

##### 第2号議案 WMOC2027への立候補の承認(愛場副会長)

2027年5月に予定されているWMG2027関西をWMOC(ワールドマスターズ世界選手権)2027と併催とすることで、WMOC開催国としてIOFに立候補したい。また、WMOC開催にはIOFへ€2000の申請料が必要であり今年度予算外支出となるが承認頂きたい。

以上、審議の結果、出席理事総数18名(1名離席)、賛成15名、反対1名、棄権2名により原案通り可決承認した。

##### 第3号議案 JSCスポーツ団体選手強化活動助成金配分額決定の承認(鹿島田業務執行理事)

2023年度にJOAより申請した、JSCのスポーツ団体選手強化活動助成金(合計200万円)の配分として、2022年6月の理事会において承認されたガイドラインに従い、以下の通り配分する。

スキーO 46万円/マウンテンバイクO 46万円/フットO JWOC 38万円/フットO WOC 42万円/トレイルO 28万円

以上、審議の結果、出席理事総数18名(1名離席) 賛成17名、棄権1名により原案通り可決承認した。

##### 第4号議案 公益財団法人日本パラスポーツ協会(JPSA)への準登録、及び日本パラリンピック委員会(JPC)への準加盟の承認(野中理事)

・JPC準加盟にともない年間10万円の分担金が必要になる。

以上、審議の結果、出席理事総数18名(1名離席) 賛成17名、棄権1名により原案通り可決承認した。

##### 第5号議案 日本ランキング規則改定の承認(桑業務執行理事)

日本ランキング規則3.2におけるスプリント競技対象大会の「全日本大会(スプリント)」について以下のように変更したい。

1.エリートランキング対象クラスにM21A, W21Aクラスを追加する

2.エリートランキング対象クラスに現状, ME, WE クラスについて決勝のみを対象としているが、これを予選・決勝の両方とし、全日本大会の評価点には「予選・決勝でそれぞれ評価点を算出し、高い方」を採用する。

以上、審議の結果、出席理事総数18名(1名離席) 賛成17名、棄権1名により原案通り可決承認した。

##### 第6号議案 スプリント委員会 委員追加の承認(奥田業務執行理事)

以下2名の委員についてスプリント委員会追加の承認をいただきたい

・藤本拓也氏(ふじもとたくや) ・西下遼介氏(にししたりょうすけ)

以上、審議の結果、出席理事総数18名(1名離席) 賛成17名、棄権1名により原案通り可決承認した。

なお、議案書文中の藤本拓也氏に対し「委員長としても是非推薦したい」について下記質疑があった事を加える。

Qスプリント委員会の委員長に推薦したい、とも読み取れるが、そういう趣旨か。

・委員長については、別途決議事項として認識しており、現委員長として委員に推薦したい、という趣旨と認識している。

第7号議案 ①2025 デフリンピック準備委員会および②全日本リレー委員会発足の承認(奥田業務執行理事)

①2025年11月開催のデフリンピックに向けて準備委員会を発足させて顶きたい。

以上、審議の結果、出席理事総数18名(1名離席) 賛成17名、棄権1名により原案通り可決承認した。

②全日本リレー委員会を発足させて顶きたい。

以上、審議の結果、出席理事総数18名(1名離席) 賛成17名、棄権1名により原案通り可決承認した。

第8号議案 2023年度全日本大会事業者発注先の承認(糸業務執行理事)

委員会内委員である事業者へ役務の発注を行う予定のため、理事会内での承認をお願いしたい。

※なお糸理事は委員会に関与することから決議時には離席し、決議には参加していない。

審議では次の意見が出された。

・説明頂いた全事業者が利益相反対象事業者であることに驚いた、賛成はできかねます。

以上、審議の結果、出席理事総数17名(1名離席) 賛成15名、反対1名、棄権1名により原案通り可決承認した。

第9号議案 「全日本大会エリートクラス出場規則」改訂の承認(高島業務執行理事)

第37回理事会では、(1)⑤・⑥について検討不足という指摘により決議されなかった為、改めて上程する。

1.3.1.3項 公認大会による取得ルールの改訂。M21Aで10位、W21Aで6位以内の者→最上位クラスで優勝時間の130%以内

2.1.5項、2.2.6項、3.1.5項 →規則の名称は『 』、その他の強調箇所は「 」で記載する。

③3.3.1項 ①にともない不要になるので削除 以降の項番を繰り上げ。

審議では次の意見が出された。以下列挙。

・ルール改訂の議案が手続きの問題と言われているが、スプリント委員会が競技委員会に黙って上程したかのように言われているが、この点は誤解であり、担当業務執行理事を通じて競技委員会委員長にも話は通していると聞いている。メールでのやり取りや書き方の誤解もあったかもしれない。

・ベテランと若手とのコミュニケーション不足、上手くいっていない点が組織として良くないと感じている。競技委員会の中でも様々な意見があり、その度に意見をまとめ、提案をしている。競技委員会の中でも相当時間をかけて話し合っている。様々な立場での意見もあり、結果として揺れ動いているような事があるのは事実。

・これだけ拗れたものなので一度白紙に戻し、議論するという高島理事の意見に賛成。選手への影響を考え、次の改訂がいつになるか？影響を受ける選手はどのくらいになるかを伺いたい。

・公認スプリント大会の予定が当面ない事から影響は現実としてないが、公認大会が開催されない事自体に危惧がある。

以上、審議の結果、出席理事総数18名(1名離席) 賛成11名、反対5名、棄権2名により原案通り可決承認した。

但し、競技委員会・スプリント委員会の双方に対し、この件に関しては今後も協議を進めていく事を促すものとする。

第10号議案 全日本スキーオリエンテーリング選手権大会実施基準改定の承認(信原業務執行理事)

全日本スキーO選手権大会ではJOAの競技者登録を必要としない取り決めとしたい。

以上、審議の結果、出席理事総数18名(1名離席) 賛成17名、棄権1名により原案通り可決承認した。

第11号議案 日本スキーオリエンテーリング大会競技規則改定の承認(信原業務執行理事)

フッ素系ワックスの使用禁止を宣言したその内容を、IOF競技規則に沿って、JOAの競技規則にも記載したい。

以上、審議の結果、出席理事総数18名(1名離席) 賛成17名、棄権1名により原案通り可決承認した。

第12号議案 会員支援に関する規程改定の承認(信原業務執行理事)

「会員支援に関する規程」改訂その1 平成30年7月7日理事会議決事項の附則への反映を行いたい。

以上、審議の結果、出席理事総数18名(1名離席) 賛成17名、棄権1名により原案通り可決承認した。

報告事項 各理事、委員会、事務局の報告

1.全日本スプリントのJSCくじ助成金獲得に向けて(奥田業務執行理事)

大会会計の赤字会計の脱却に向け、JSCくじ助成の申請を検討中である。

2.全日本リレーの開催地について(奥田業務執行理事)

全日本リレーの開催地に関する原則(国体開催地)について

2023年度は佐賀県を予定している、(国体はコロナ順延で2024年度) 2024年度は三重県(2021年度中止の振替)

国体開催地=リレー開催地とする事について→毎年開催する事が大事。今後については課題として考えていく必要がある。

3.2025 デフリンピック選手の強化について(鹿島田業務執行理事)

デフリンピックの選手強化については、JOA 内委員会の所掌において実施主体が未確定でしたが、関係者で協議の上、強化委員会管轄にて、通常のフット O 強化とは別の体制にて実施していく方針とした。

4.柴田達真氏の IOF Ski- Commission への推薦(鹿島田業務執行理事)

9 月下旬開催予定の IOF 理事会に先立ち、Ski-O Commission の新メンバーとして、JOA より柴田達真氏(JOA Ski-O 委員会委員長)を推薦した。

5.IOF アジアワーキンググループ報告(村越副会長)

2023 年 12 月の AsWG で、定款案、IOF との覚え書き案を議論する。

意見交換・討議

1.規程確認WGの総括および今後の確認(信原業務執行理事)

JOA にある組織運営の為の各規程について整合性などを確認し、必要に応じて改訂案を提言するワーキンググループの設立を提案します。

2.JOA ネーミングライツ事業に関わる内規(村越副会長)

増収策として、事業等いわゆる冠を被せることに対する対価を設定する「ネーミングライツ事業」の運用を規定する内規の作成

3.会員支援に関する規程改定について(信原業務執行理事)

「会員支援に関する規程」附則 4 項に、会員支援申請手続きの簡略化についてを追加する

本日のオンラインシステムを併用した会議は、終始異状無く議題の審議を終了したのを確認した。

第 40 回理事会議事録 以上

2023 年 9 月 18 日

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

議事録署名人

議長

代表理事「副会長」 愛場 庸雅

愛場 庸雅

議事録署名人

監事 齋藤 宏顕

齋藤 宏顕